

教育委員会会議録（3月定例会）

日 時

平成25年3月22日（金）
午後3時00分から午後4時15分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	伊藤 吾子
委 員	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	佐藤 守
総務課長	窪田 康徳
総務課課長（新図書館施設建設担当）	森山 浩一
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
生涯学習課長	齋藤 淳
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	作間 忍
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長	大竹 勉
教育研究所長	大地 斉
視聴覚センター係長	渡辺 景一
宮田調理場長	鈴木 伸之
企画員	阿部 英明
総務課副参事(兼)庶務係長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	滑川 達也
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第3号 教育委員会2月定例会の会議録について

2 議 案

議案第6号 平成25年度「日立の学校教育」の策定について

議案第7号 日立市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則及び日立市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

3 その他

(1) 平成25年第1回市議会定例会について

(2) 日立市幼児施設のあり方検討会議からの提言書について

(3) 学校施設等の除染について

(4) 平成25年度教職員定期人事異動に伴う辞令伝達式について

(5) 小規模特認校への就学について

(6) その他

(7) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、定刻となりましたので、只今から3月の教育委員会定例会を開催します。

今月の定例会の傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 3 号

教育委員会2月定例会の会議録について

委 員 長

報告第3号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 6 号

平成25年度「日立の学校教育」の策定について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。

議案第6号について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長

平成25年度「日立の学校教育」の策定について、提案するものです。

今年度の日立の学校教育は、これまでの内容に加え、防災教育、通学路の安全、いじめ、体罰についても取り上げています。

この冊子は、全ての教職員が、同じ方向を向いて教育に取り組めるように作成しているものですが、今回、より同じ方向を目指せるように、教育委員の皆様のコラムを掲載しました。

委 員

かなり我々の意見を取り入れていただいているようで、ありがとうございました。

今後さらに校正をしていくようですが、誤字脱字のないようにお願いします。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案第7号 日立市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則及び日立市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

委員長 次に、議案第7号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 図書館の開館時間等の試行的取組を本格実施し、及び南部図書館の開館に伴い規則を整備するため、本規則を制定するものです。

規則第1条は、多賀図書館にあるホールなどの貸出施設の利用時間、各図書館の開館時間、休館日について、それぞれ試行的に実施している内容を本格実施するために規定するものです。

規則第2条は、南部図書館開館に伴い、開館時間及び休館日を定める改正です。

規則第3条は、日立市教育委員会公印規則の一部改正です。南部図書館の公印を新たに定めるものです。

規則第1条は、平成25年4月1日から、第2条及び第3条は、南部図書館の開館に合わせ、同年4月24日から施行します。

この改正に伴いまして、閉館時間は、平日、休日を問わず、全館統一されることとなります。

委員 開館時間が長くなることによって、サービスとしては向上しますが、人件費は問題ないのですか。

記念図書館長 現在も試行的に行っていますので、改正による人件費の増はありません。

委員 貸出施設の利用時間が午後9時までとなっているにもかかわらず、図書館の開館時間が午後6時までとなっているのはなぜですか。

教育長 多賀図書館は教育会館に設置されていますが、教育会館には、図書館以外にも大ホールや研修室といった設備があります。それらの設備は、多賀図書館が管理することとなっておりまして、貸出施設として、図書館とは別に利用時間を定めています。

委員 本の貸出や返却は、午後6時までですか。

記念図書館長 閉館後も、図書館に設置されているブックポストに本を入れれば、返却はできます。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 そ の 他

(1) 平成25年第1回市議会定例会について

委員 長 続きます、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 平成25年3月6日から3月26日まで開催されている、平成25年第1回市議会定例会について、報告します。

代表質問は、3つの会派からありました。

民主クラブの青木議員からは、学力と生きる力の向上に向けてということで、学力向上と道德教育の結びつき、生きる力を育むという教育目標に対する考え方、家庭教育に対する見解について質問がありました。これに対して、学力向上については、基礎的な知識や技能は身に付いているが、その応用については課題が見えたということをお伝えしました。ただし、理科や英語が好きという児童生徒が多く、日立理科クラブによる理科室のおじさんやALTの配置など、これまでの各プロジェクトの成果と考えている旨もお伝えしました。道德教育については、道德教育のねらいである、自分の生き方を考え、それを実現するために学ぶという学びの意義を知っていただくことで、意欲を高めていくことにつながるという考えをお伝えしました。2点目の自ら問題を解決する力については、これからの人生で出会うであろう様々な困難に立ち向かい、共に助け合い、地域や社会に貢献しながら、生きてきてよかったといえるような人生を歩むための、正に生き抜く力を育むことが求められていると考えており、次代をしっかりと生き抜く日立っ子を掲げ、次の時代のまちづくりを担う人材の育成に努めていくことをお伝えしました。3点目の家庭教育については、生きる力の基礎となるのは、家庭での教育であり、学校教育と家庭教育は子どもを育むための車の両輪であるということをお説明した上で、家庭の様々な事情もあるので、事細かにサポートしていきたいということをお伝えしました。

また、文化・芸能活動についてということで、日立風流物や日立ささら等の後継者育成について、質問がありました。これに対しては、保存継承と後継者育成のために、無形民俗文化財が公開しやすい条件を整え、まつりをサポートする環境づくりをしていきたいということと、高校生や若者が、風流物のサポーターとなって体験し参加できる機会を増やしていきたいということをお伝えしました。

公明党の館野議員からは、いじめ・体罰問題についてということで、教育現場への警察の介入、体罰に関するアンケート調査の状況、現在のスクールカウンセラーの実態、配置の拡充について、質問がありました。これに対し、教育現場への警察の介入については、犯罪行為の可能性がある場合、学校だけで抱え込むことなく、警察に相談・通報し、その協力を得て対応するようにとの通知が文部科学省から出ているということを説明した上で、相互連絡制度の協定を締結する取組が進められており、県警本部との連携を一層深めていきたいと考えているということを伝えました。また、本市では警察OBを生徒指導担当相談員として任用しており、専門的立場から、学校への指導・助言のほか、警察との連携も図られていることを説明しました。体罰のアンケートについては、全児童生徒・保護者・教職員に対して実施しており、調査の結果、倒す等に該当する事案の報告があったので、事実関係の聞き取り調査を指示し、改めて学校からの報告を求めているということと、体罰の実態やその背景等の分析を行い、今後の教職員の研修の機会に生かしていきたいということを伝えました。スクールカウンセラーの実態と活用については、平成24年度に県から派遣されているスクールカウンセラーは7名で、本市の取組として、スクールカウンセラーとは別に、教育相談員を中学校に配置しているということを説明しました。

新政ひたちの永山議員からは、学校施設について、市では平成27年度末までに耐震化率90%を目標にしているが、その進捗状況について質問がありました。これに対しては、現在、助川小学校と仲町小学校の補強設計が完了し、助川小学校においては補強工事まで進んでいるということと、その他の23校は、耐震診断がおおむね完了し、そのうち大久保小学校を始めとする6校は補強設計に入っているということを報告しました。平成25年度からの2箇年で集中的に耐震補強工事を実施し、耐震化率90%を達成できるように取り組んでいくということを伝えました。

一般質問は、4人の方からありました。

公明党の添田議員からは、子ども防災自助パックについてということで、防災教育の中で、最低限必要な保存食や飲み水などを準備し、災害時を想定した保護者からのメッセージなどを入れた「子ども防災自助パック」を検討してほしいという要望がありました。これに対しては、家庭、地域、学校での活用・検討を働きかけていきたいということを伝えました。

新政ひたちの檜村議員からは、複式学級への対応についてということで、本市の複式学級の現状、複式学級での学習形態の改善などの取組について質問がありました。これに対して、複式学級の現状については、今年度は、東小沢小、中里小、山部小の3校で6学級、平成25年度は、小学校3校で5学級となる見込みとなっていると

いうことを報告し、複式学級は、少人数であるがゆえの問題がありますが、逆に、一人一人の個性や特性に応じた指導が充実できるなどのメリットもあるということを伝えました。学習形態の改善については、学年ごとにきめ細やかな学習指導の充実を図ることが重要と考え、教科指導の充実のための理科学習支援講師を配置するなど、複式学級を持つ学校への学習支援に取り組んでいるということを伝えました。

公明党の三代議員からは、テレビ寺子屋ということで、ケーブルテレビを利用した教育番組を導入してはどうかという提案がありました。これに対しては、平成25年度に試行的に番組を制作し、児童生徒が視聴しやすい夏季休業前後の期間に、ケーブルテレビJWAYを使って放送することを計画しているということを伝えました。

民主クラブの高安議員からは、スポーツ施策についてということで、浜の宮広場のさらなる環境改善が必要ではないかということと、浜の宮広場に人員を配置するなどをし、スポーツ広場にしてはどうかという提案がありました。これに対して、環境改善については、女子トイレ、野球場及びサッカー場の防球ネットの設置、駐車場の整備などについて、利用団体等の意見を聞き、スポーツ施設全体の年次計画の中で整備を進めていきたいと伝えました。浜の宮広場のスポーツ広場化については、敷地内に国有地や民有地が介在し、無償借地している経過があり、管理棟等の施設の建設整備や有料化による運営には、多くの課題があるということで、当面は現状のままでの利用が適切と考え、利用者がより快適に利用いただけるよう、環境整備に努めていくということを伝えました。

また、市民運動公園の整備についてということで、新体育館と野球場、テニスコートを結ぶペDESTリアンデッキを整備してはどうかという要望や、イベント時に新体育館の駐車場が不足した場合の対応について質問がありました。これに対して、ペDESTリアンデッキについては、費用対効果の点において設置は難しいと伝えました。イベント時の駐車場不足については、周辺の茨城大学をはじめ、民有地の活用による駐車場の協力を仰ぐほか、公共交通機関利用の促進、シャトルバスの運行など、駐車台数を抑制する方策により対応したいと伝えました。

議案質疑は、2人の方からありました。

民主クラブの白石議員からは、通学援助経費に関し、中里小・中学校へ通学する児童生徒が利用するスクールバスの利用人数と運行計画について、質問がありました。これに対しては、現時点での小規模特認校制度利用による転入学予定者は10名おり、今後も数名程度増えることが見込まれていることを伝えました。

公明党の薄井議員からは、郷土博物館大規模改造事業費に関し、

これまでの経緯と工事の概要、収蔵資料の保管のあり方や業務についての今後の対応について、質問がありました。これに対しては、耐震診断を行ったところ、所要の耐震性能を充たしていないことが明らかになったので、今年度、大規模改造のための設計を行い、来年度、大規模改造工事を実施するもので、工事の概要としては、耐震補強工事、損傷している外壁や老朽化が著しい空調機器などの改修を含めた工事を予定していることを伝えました。また、工期は、今年7月から来年3月までの予定で、その期間は休館とし、収蔵資料を安全な場所に移して保管するとともに、文化財保護などの通常業務については、事務室を移転して行うとともに、学校への出前授業や館長講座、ふるさと講座など、館外での事業の充実を図っていくことを伝えました。

また、運動公園新中央体育館建設事業費に関し、新中央体育館の事業スケジュール及び施設の内容について質問がありました。まず、事業スケジュールについては、現在、中央体育館の解体工事を進めており、併せて基本設計を今年度中に、実施設計を8月末の完了を目途に進めているところであり、平成25年度中に本体工事に着手するということを報告しました。施設の内容については、観客席約3,000人を収容できるメインアリーナの整備など、スポーツレクリエーション活動と広域交流の拠点としての複合的な施設整備を行っていくことを伝えました。

(2) 日立市幼児施設のあり方検討会議からの提言書について

委員長 それでは次に、その他(2)について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 昨年10月に設置した日立市幼児施設のあり方検討会議が、5回の検討を経て、今日5日に市長に提言書を提出しましたので、報告します。

提言書の内容の要点として、まず、検討の背景ですが、幼児施設では、未就学児人口の減少等により、一定規模以上の集団活動が困難になるなど、運営上の問題や施設経営への影響が懸念されていることがあります。さらに、保護者のニーズの多様化、地域の子育て支援活動の推進、特別な支援を必要とする子どもの増加による支援体制の充実など、幼児施設に求められるニーズが変化しています。その他、日立市では、これまでに幼稚園、保育園のあり方について、それぞれ担当部署で検討を進めてきた経過があること、平成27年度から、子ども・子育て関連3法が施行予定であるため、その対応が必要であるということがあります。

想定期間は、平成25年度から平成34年度までの10年間で、必要に応じて見直しが必要となります。

次に、幼児施設の現状についてですが、日立市の特徴として、本庁地区・多賀地区に施設が集中し、北部地区には施設数が少ないことと、他都市に比べて、保育園よりも幼稚園の方が施設数及び入園児数ともに多いことが挙げられます。また、特別な支援が必要な園児は、年々増加傾向にあります。

次に、幼児施設の需要についてです。現在の入園状況は、3歳児未満は入園率が約20%ですが、4、5歳児になると、99%を超えています。今後の幼児施設の入園児数としては、将来的に一定規模以上の集団活動が難しくなることが予想されます。

幼児施設の課題ですが、まず、全体的な課題としては、今後の園児数の減少により運営が困難な施設が出現する可能性があること、教諭、保育士の保育体制の確保が必要なこと、一定規模の集団としての教育活動の維持、特別な支援が必要な園児への対応が求められていることなどがあります。

個別的な課題としては、公立幼児施設のうち、老朽化が著しい施設への対応や、私立幼児施設の安定した運営を継続させていくことなどがあります。

幼児施設の今後のあり方ですが、まず、全体の方向性としては、適正な幼児施設の規模や配置の見直しを行っていきます。具体的には、公立の幼児施設が受入れ枠を調整し、幼児施設の適正な運営を確保します。また、地方版子ども・子育て会議の設置、子ども・子育て支援事業計画の策定、幼児施設の認定こども園への移行の検討などが挙げられています。

公立幼児施設の方向性としては、子育て支援の拠点としての役割を担い、要保護児童や特別な支援が必要な園児の積極的な受入れていくことなどがあります。

私立幼児施設の方向性としては、地域に根差した子育て支援事業の拠点園として、安定した運営を継続していくことなどがあります。

今後は、可能な限り、提言書の内容に沿って進めていきます。

委員 提言を受けた上での具体的な計画は、すでに立てているのですか。

総務課長 適正な幼児施設の規模や配置の見直しとしては、公立が受入れ枠を調整していくということで、早急に、認定こども園や幼児施設の統廃合などの計画を策定していきたいと考えています。ただ、施設については、園児、保護者、地域の意見もありますので、三者の合意を得つつ、できる限り早く進めていく必要があります。

委員 特に、老朽化した施設を考えたときに、早急に対応せざるをえない地区もあるのではないのでしょうか。

総務課長 老朽化した施設を優先的に、早急に進めていきたいと思えます。

委員 日立市では、保育園よりも幼稚園の方が施設数、入園児数ともに多いとのことですが、ここ数年で、保育園の入園児数も増えていきますし、働く母親が増えていると思えます。幼稚園も大事ですが、病気の回復期の保育の充実など、保育園も大事にしてほしいと思えます。

幼稚園の教諭の確保とありますが、今の保育士が、幼稚園で教えることはできるのですか。

総務課長 資格については、現在、おおよその職員が、幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持っています。また、平成27年度に子ども・子育て関連3法が施行されると、幼稚園教諭と保育士の資格を併せ持った保育教諭という職が置かれることとされています。

委員 市職員採用の際に、2つの資格を持った方を対象とする必要がありますね。

総務課長 現在の採用では、幼稚園教諭・保育士を併せて一つの区分として、採用しています。

委員 これまで、保育園と幼稚園の人事交流はあったのですか。

総務課長 これまではありませんが、今後は、そういったことを行っていく必要があると思えます。

(3) 学校施設等の除染について

委員長 それでは次に、その他(3)について、学校施設課長から説明をお願いします。

学校施設課長 今年度進めてきた学校施設等の除染実施状況について、報告します。

教育委員会が所管した施設は、公立及び私立の小・中学校、幼稚園、特別支援学校、スポーツ広場です。現在、市全体の対象施設のうち、70%の施設の工事が完了しています。教育委員会所管の施

設については、大みか小学校とスポーツ広場6施設が工事中で、3月中には全て完了する予定です。

実施結果について、公立小中学校10校、公立幼稚園2園、私立幼稚園2園では、フェンスや側溝などのホットスポットを中心に、除染後も0.23マイクロシーベルトを下回らない箇所がありました。

今後の対応として、0.23マイクロシーベルトを下回らない箇所については、さらなる除染を実施し、特に、子ども達の活動場所に近接する部分については、優先的に除染していきます。併せて、除染が完了するまでの間、学校等と連携しながら、0.23マイクロシーベルトを超える箇所への立入りを制限する措置を行っていきたいと考えています。

委 員 工事完了後も放射線量の値が高い箇所は、どのように除染するのですか。

学校施設課長 除染の方法の一つとして、表土を削る方法がありますが、最初の工事では5cm削っていきまして、なお数値が高い箇所については、更に5cm削ります。また、樹木の周りで数値が下がらない箇所については樹木を伐採し、フェンス付近の場合にはフェンスを拭いて除染します。それでも数値が下がらない箇所は、おそらく、敷地外にある雑木林や草地の影響によるのではないかと考えています。

委 員 例えば、10cm削っても数値が下がらない場合は、どのようにするのですか。

学校施設課長 その場合には、それ以上削っても効果を期待できませんので、主管課である生活安全課などと相談しながら、今後の対応を決めていきたいと思います。

(4) 平成25年度教職員定期人事異動に伴う辞令伝達式について

委 員 長 それでは次に、その他(4)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 平成25年度教職員定期人事異動に伴う辞令伝達式等について、説明します。

退職者及び市外転出者に対する辞令伝達を行う平成24年度末辞令伝達式は、3月29日に、日立市教育会館で行います。

また、新規採用者、配置換者、昇任者に対する辞令伝達を行う平

成25年度始辞令伝達式は、4月1日に、同じく日立市教育会館で行います。

これらの伝達式について、委員の皆さまにご出席をお願いします。

(5) 小規模特認校への就学について

委員 長 それでは次に、その他(5)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課 長 中里小・中学校で行われている小規模特認校制度利用による来年度の就学予定者等について、報告します。

小規模特認校制度利用により、平成25年度の就学予定者数は、申請中である2人を含め、12人となっています。

今後の募集については、在校生と合わせて1学年につき10人程度を目標に、平成25年度も引き続き募集を継続します。

また、遠距離通学となる生徒の負担を軽減するため、日立駅から中里小・中学校まで、スクールバスを運行する予定です。

(6) その他

委員 長 それでは、その他で、ほかにある方はいらっしゃいますでしょうか。

スポーツ 4月のスポーツイベントについて、説明します。

振興課 長 まず、第2回日立さくら杯社会人野球大会を、4月7日、日曜日に、日立市市民運動公園野球場で開催します。11時45分から開会式を行い、12時から試合を開始します。

次に、第36回JABA日立市長杯選抜野球大会については、4月11日、木曜日から、14日、日曜日までの4日間、日立市市民運動公園野球場と日立製作所会瀬球場で実施されます。

最後に、第13回日立さくらロードレースについてですが、今回の応募者数は16,985人でした。これに、招待者を加えまして、参加者数は1万7千人程度を見込んでいます。前回の参加者数14,742人に比べ、2,200人程度の増加となります。

(7) 次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願

いします。

総務課長 平成25年4月26日(金)日立市教育プラザで午後3時から開
会予定です。

5 閉 会 午後4時15分

委員長 それでは、以上をもちまして、教育委員会3月定例会を終了いた
します。